

一般財団法人東京都ひとり親家庭福祉協議会 実施事業の状況 【平成30年度実績】

1 地区ひとり親の会との連絡提携

当協議会と都内の地区ひとり親の会との情報交換、交流、地区ひとり親の会相互の交流等を行う。また、関東地区母子寡婦福祉団体、全国母子寡婦福祉団体協議会との連携を図っている。

(1)地区ひとり親の会会長会

加盟 24 団体

地区ひとり親の会会長会 年 2 回

(2)関係団体との連携

関東地区母子寡婦福祉研修大会(茨城県) 35 人参加

全国母子福祉団体研修会(岡山県) 3 人参加

2 「ひとり親相談の家」電話相談

地区母子会の会長等がピアカウンセリングの相談員としてひとり親家庭の電話相談を行う。

毎月第1及び第3土曜日に実施する。1日2名相談員を配置している。

3 東京ムーブ事業

都内のひとり親を対象とした親子交流事業、研修事業を行った。

交流事業(自然体験キャンプ、マリンスポーツ体験会、ポニー乗馬体験、お泊り会など) 15回 511人参加

ムーブ登録会員 789世帯 (H31.3末現在)

4 招待イベント事業

(1)埼玉西武ライオンズ試合観戦ご招待(秋山選手) 23家族 52人

(2)日本舞踊「ゆう」観劇ご招待(藤川澄十郎) 3家族 6人

(3)国際親善交流特別演奏会(日本音楽文化交流会) 31家族 89人

(4)新春浅草歌舞伎(松竹) 41人

(5)ふれあいトリオコンサート(Kトレーディング株) 26家族 60人

など

5 企業の社会貢献活動への支援

(1)「夢を応援基金 奨学金」(ローソン)

応募 67人、選考(一次、二次)後、20名を全国母子協に推薦

(2)「次世代応援プロジェクト」ひとり親家庭のキャリア支援(りそな未来財団)

(3)「母と子の自然教室」(三菱商事)

(4)「マツダロードスター東京サンタドライブ 2018」(マツダ株)

(5)「成田空港見学ツアー」(JAIFA ソニー東京)

など

6 東京都ひとり親家庭支援センター事業

東京都から受託して、東京都母子家庭等就業・自立支援事業センター事業として、ひとり親家庭等に対する就業支援サービスの提供、各種相談事業を実施した。

(1)就業相談等事業

就業相談・無料職業紹介事業、相談支援員研修会、就業支援講習会を実施した。

就業相談 電話 4,911件、面接 1,000件

無料職業紹介事業 求人数 220件

求職登録 306件、就職決定 122人

相談支援員研修会 10回 参加者 398人

就業支援講習会(パソコン講習) 10回 150人

(2)生活相談事業

電話 3,067件、面接 214件

(3)離婚前後の法律相談

実施日数 72日、相談人数 199人

相談内容

(離婚・親権・婚姻費用 292件、養育費の増額・減額 149件、財産分与 120件、その他)

(4)養育費相談事業

離婚後の子どもの養育費に関する一般相談(電話・面談による一次的相談、全般的相談)、専門相談(面談、予約制で専門相談員による相談、年間96日実施)を行う。また、23年度から、裁判所への同行支援を実施している。30年度は実績なし。

一般相談 1,173件 505人、専門相談 489件 180人

一般相談内容

(離婚・親権・婚約費用 360件、取決め方法・算定 248件、面接交渉 97件、履行・強制執行 82件、増額・減額 32件、その他)

(5)面会交流支援事業

父母が協議上の離婚をするとき定める「子の監護について必要な事項」である面会交流について、中学生までの子供がいる、年収が児童扶養手当受給相当である親を対象に、支援を行う。

支援の内容は、親双方と面談による面会交流の考え方・条件の調整、面会交流の実施場所・実施方法の決定、決定面会交流の立会い、である。

相談件数 739件 (当事者の母 296件、当事者の父 250件、弁護士 119件、その他 74件)

支援計画・事前調整相談等の支援を行った件数 39家族